

読者の声

141 春号を読まれた方から、アンケートはがきで多くの感想をいただきました。その一部を紹介します。

息子が岩手から引っ越したとき、アパートから大学まで一緒に歩いてみました。とても広く素晴らしい大学だと思いました。会報で生田キャンパスの様子を拝見しながら、息子と歩いたことを思い出しました。岩手・Kさん

矢野建一学長の大学の伝統と未来へのビジョンは、とても感慨深いものでした。大学の歴史、そして現在…これから専修大学が末永く発展していただきたいです。夏の支部懇談会も先生方と直接お会いできるので、足を運び勉強させていただきます。茨城(県南)・Iさん

入学式は行けませんでした、会報から雰囲気伝わってきました。支部ネットで支部の方の様子がわかるのもいいですね。神奈川東・Oさん

子供は一人暮らしをしているので、どんな学生生活を送っているのか知りたいことばかりです。特集の「専修大学ってどんな大学？」のような記事はとても楽しみです。福島(中通り)・Sさん

いよいよ息子も3年生となり、将来の進路を以前にも増して意識するようになっております。われらイキイキ専修人の熊崎友香さんの記事を読み、4年から講座に通い、内定は卒業式の後だったというお話に、就職は人それぞれなのだなと思いました。神奈川東・Iさん

座談会の記事を読みますと、学生の皆さん、それぞれ忙しい毎日を上手に過ごしている様子が伺えます。娘も課題が多くて、部屋を片付ける時間がないと話していました。静岡(静岡)・Kさん

同郷の先輩のコメントや、子供と同じ学部学科についての記事は、自分と重ねて読んでしまいます。子供が入学した後、私も駅から生田キャンパスまで歩いてみましたが、学生の皆さんはきつくないのかなあ…、慣れ？若さ？すごいと思いました。鹿児島・Mさん

超びっくりです！新入生のオリエンテーション・ガイダンスの写真に、小さく息子が写っているのを発見。本人に確認したら、「そうだ！」大学生活のことなど何も話してくれないので、「周りにいるのは友達？」などと息子と話が盛り上がり、学校の様子もわかり、よかったです。東京C・Kさん